

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

 E-mail sodan@jrtu.or.jp
 東京本部 〒108-0075 東京都港区海岸2-1-45
 JR東海品川ビル3階3F (03)6718-1251
 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 宮崎 勝典

結成30周年の節目！ 第32回定期大会を開催！

満場一致で運動方針を決定！
**「UNION FUTURE ↓2027」
折り返しとなる6年目の
取り組みがスタート！**

7月5日、名古屋マリオットアソシアホテルにおいて、「第32回定期大会」をフルスペックにて実施した。各議案の提起、質疑を経て、満場一致で全議案が承認され運動方針が決定した。なお、今定期大会は人事大会であり、役員の交代も実施された。

今回決定した運動方針に基づき、組合員全員参画で組織のさらなる発展を図るべく、中期目標「UNION FUTURE ↓2027」に基づく折り返しとなる6年目の取り組みがスタートとなる。なお、今年度は記念すべき結成30周年という節目の年となるため、記念レセプションを開催し多くのご来賓とともに喜びを分かち合い、参加者の笑顔があふれる時間となった。


尾内中央執行委員長あいさつ


3年半以上の月日が経過しているコロナ禍の影響においても、JR東海ユニオン組合員が鉄道・医療職の最前線に立ち、エッセンシャルワーカーとして、強い使命感を持って業務に精励してきて頂いたこと、また、組合活動においても献身的な取り組みを推進してきて頂いたことに、心より敬意と感謝を申し上げます。世の中が対面によるコミュニケーションの重要性を再認識する中で、感染症法上の分類変更も相俟って、人流は大きく回復し、JR東海の経営も2023年3月期決算では増収・増益の黒字決算となった。一つひとつの課題に向き合い解決を目指して来られたのは、仲間と共に直接対話を大切にした意思疎通を図り、組織の力を高める活動をユニオン組合員が、愚直に取り組んで来たからであると確信している。

私たちは、6年目となり折り返しを迎える中期目標「UNION FUTURE ↓2027」に基づき

運動をスタートさせる。時代の転換点に立つ私たちは、今一度、組合員の利益を第一義とする労働組合主義の原点に立ち返り、相互扶助の精神をより大切に、声に耳を傾け、言葉の裏側にある想いを感じ、共に考え、活動に反映するという、基本的な活動を再構築していく必要がある。

「安全の確立」について、私たち鉄道・医療事業に携わる者にとって、「安全の確立」は労使共通の不断に追求すべき最重要課題である。そして、安全確保の原点である職場からの主体的な取り組みを基本に、事故や労働災害の未然防止・再発防止に取り組んできた。この間の取り組みで浸透が図られた「アサーション（確認会話）キャンペーン」は、更なる定着化を進めると共に、同様に浸透を図ってきた「ジブンゴト」としてとらえ、より「自分ができるか」を意識する機会を創出していく。加えて、安全に関する取り組みは、グループ会社や関係会社との連携が極めて重要であり、「業務改革」「グループビジョン2032」「挑戦と実践」が与える影響なども考慮しつつ、JR東海労使で議論し、解決を図ってきたい。

また、継続して様々な活動の場で組合員同士、組合役員同士、及び両者相互間の直接対話を増やす取り組みを強く意識する必要がある。その中でも、組合役員が負担なく直接対話ができる環境が求められており、組織としての知恵を絞った取り組みを進めていく。また、女性役員の育成・登用も確りと意識し、更なる取り組みも展開を図っていく。交通共済の契約移行については、引き続き組合員に問題が生じないよう、事務手続きも含め、確実な共済事業活動を展開していく。

「ハートフルカンパニーの実現」について、第6回政策シンポジウムの際において、新人事・賃金制度の見直しに伴う制度的な改善だけでなく、組合員の声を基にした身近な改善について数多くの成果を勝ち取ってきたことを参画者全員で共有してきた。引き続き、「全職場総対話行動」をはじめとする様々な機会を受け止めた組合員の想いやニーズ、課題認識を整理した上で、各級機関と連携した前進を図って行く。また、「基本協約」改訂交渉や2024春季生活改善闘争、36協定に係る交渉に期末手当交渉と組合員の働き方や生活に直結する労使協議等について、ワーク・ライフ

第32回 定期大会スローガン

「UNION FUTURE ⇒2027」

折り返しとなる6年目がスタート！

「安全の確立」「組織の活性化」

「ハートフルカンパニーの実現」を全員参画で推し進め、

将来にわたる組合員・家族の幸せを実現しよう！